

## 《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：2月2日（金） 午後3時から（会 場：谷中区民館）

### ◇高齢者にも身近でレクリエーションできる広場を

質問	回答	対応
<p>超高齢化社会を迎え、町に活発な高齢者を多く見かけます。半世紀前とは異なり、今では高齢者がスポーツを行うことはごく当たり前のこととなりました。元気で自立的な生活を維持できる高齢者をいかに増やしていくかが今後社会の大きな課題だと思えます。</p> <p>上野桜木に台東区が寛永寺から借りた広場があり、普段は子供の遊び場として使用しています。</p> <p>そこで、子供が学校や幼稚園に行っている空いている時間に、広場の一部を高齢者のグランドゴルフやレクリエーションに使わせていただけないでしょうか。</p>	<p>今回のご質問は、「上野桜木子どもの遊び場」についてのことと思われます。</p> <p>活用方法については、高齢者の利用のほか、近隣地域の方から様々なご要望やご意見をいただいておりますので、今後検討してまいります。</p>	☆

◇芋坂付近谷中霊園側の高木について

質問	回答	対応
<p>芋坂付近谷中霊園の道路と隣接している高木は、秋になると多くの落ち葉が道路に散乱し、地域住民が清掃している状況にあります。</p> <p>区が清掃作業を行う場合がありますが、対象になっていないところもあり、大変苦慮しています。落ち葉が雨どいに詰まり、業者に依頼する場合もあり費用も掛かります。近隣住民も高齢化していく中、「清掃もいつまでできるかわからない」とのことです。</p> <p>防災対策の観点からも風雨・地震等の自然災害にて倒木した場合、危険性が非常に高いと思慮しています。特に、台東区立芋坂児童遊園の崖上にある高木数本は危険であり、対策を講じるべきです。谷中霊園は都霊園であり、区から要請はできないでしょうか。</p> <p>大きな事故が発生してからでは遅いと思います。よろしくをお願いします。</p>	<p>谷中霊園の高木については、今回ご意見をいただいた時点で、区から東京都東部公園緑地事務所へお伝えしています。</p> <p>その後の進捗状況について確認したところ、落ち葉の対策として、すでに剪定は済んでいるとのことです。</p> <p>引き続き進捗を確認し、相談をまいります。</p> <p>なお、芋坂から谷中霊園に至る区道については、年間を通して10日ごとに清掃を行っています。</p> <p>落ち葉の多い時期等で、清掃作業が不十分な場合は、状況を確認のうえ対応させていただきますので、土木課にご連絡ください。</p>	●

◇町会編成について

質問	回答	対応
<p>現在、避難所は、異なる地区町会連合会に所属する複数の町会で運営しており、ほかにもいろいろな面で不都合の生じるときがあるので、町会の編成を考え直しても良い時期ではないでしょうか。</p> <p>また、谷中清水町公園の名称変更を検討しませんか。</p>	<p>町会の編成には、当該町会の意向を確認する必要があります。また、当該町会が所属する地区町会連合会や地区単位で活動している関係団体などへの影響も考慮しなければなりません。</p> <p>続いて公園の名称変更についてです。</p> <p>谷中清水町公園は昭和42年5月の開園以来、この名称で親しまれてきています。また、めぐりんのバス停にも使用されているなど、名称変更する場合には様々な影響が生じることが想定されます。</p> <p>そのため、どちらに関しましても慎重な協議・調整が必要になると考えられます。</p>	△

◇マッサージ券について

質問	回答	対応
<p>マッサージ券の支給が年2枚になっていますが、とても足りないので枚数を増やしてほしいです。</p>	<p>区では、9月15日時点で73歳以上の希望者を対象に、1枚につき1,000円でマッサージ、はり、きゅうのいずれかを受けることができる券を2枚交付しています。</p> <p>交付方法については、7月に電子申請または区役所2階の高齢福祉課窓口で申請された方と、前年度に券を受領された継続利用の方に8月下旬に郵送しています。</p> <p>9月以降は随時窓口で申請を受け付け、その場でお渡ししています。</p> <p>券の枚数については、今回いただいたご意見も踏まえまして、今後の検討課題とさせていただきます。</p>	☆

◇三崎坂の歩道の傾斜について

質問	回答	対応
<p>三崎坂は都道だと思いますが、歩道の一部で車道側に斜めに下がっているところがあり、先日車椅子を押した際に大変でしたので、斜めを少なだらかにしてもらえれば良いと思います。</p>	<p>歩道の一部が車道側に斜めに下がっているとのことで、今回のことは道路管理者である東京都にお伝えします。</p> <p>※令和6年2月、第六建設事務所に歩道のセミフラット化など、歩道の改良について要望しました。（都市計画課）</p>	●

◇高齢者の集う場所について

質問	回答	対応
<p>介護保険を使っている人は特養などのデイサービスを使っていますが、健常者の集う場所が欲しいと思います。</p>	<p>区では谷中区民館において、体操などを行う「ふれあい介護予防教室」や、トレーニングマシンを使った「高齢者はつらつトレーニング」などを実施しています。</p> <p>また、住民の方が主体となって定期的に集まり、体操や趣味活動などを行う「通いの場グループ」の紹介も行っていますので、高齢福祉課へお問い合わせいただければと思います。</p>	—

◇谷中防災コミュニティセンターと初音の森防災広場について

質問	回答	対応
<p>谷中防災コミュニティセンターは、地域活動の拠点として有効活用されています。また、初音の森防災広場も余計な遊具が無く、子供たちが自ら工夫して活用している姿は谷中の宝となっています。</p> <p>防災訓練に関しても、この2つは中心の場所となっています。</p> <p>そこで質問ですが、</p> <p>①災害発生時の谷中防災コミュニティセンターの活用について、今一度谷中住民が理解できるように説明文を作成していただきたいです。</p> <p>②初音の森防災広場においても、災害時の役割を今一度文章化して谷中住民に周知願います。</p> <p>③災害時、区民は避難所へ避難する前提で捉えています。建物損傷の軽度な住民は在宅被災者となるのが標準であると考えられます。しかし、区からの在宅被災者への支援については明確に示されたことはありません。早急に、在宅被災者に対する支援と、避難所への避難の基準を示すべきだと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>ご質問の1つ目と2つ目の谷中防災コミュニティセンター、初音の森の活用については、荒川氾濫など大規模な水害発生時に当センターが区の災害対策本部となるため、広場も含めご利用は控えていただくことになります。また、地震発生時には、炊き出しなど地域住民の活動場所としてご利用いただけます。</p> <p>これらに関する具体的な周知方法については、今後、谷中地区まちづくり協議会防災対策部会にてご意見をいただいたうえで、地区町会連合会や、まちづくり協議会を通じて周知してまいります。</p> <p>次に、ご質問の3つ目の「在宅避難者の支援」についてです。</p> <p>現在、発災後4日目以降は、国などから救援物資が供給されることとなっており、在宅避難者への提供を想定しています。しかし、被害によっては、それ以上を要する可能性もあるため、最低3日分、できれば7日分の備蓄を各ご家庭でお願いしているところです。</p> <p>また、避難所への避難の基準ですが、被害により自宅が住めない、または倒壊等の危険がある場合は、避難所に避難していただきたいと思います。</p> <p>これらのことをより多くの方に知ってもらえるよう、さらなる周知に努めてまいります。</p>	<p>◇</p>